

■■■第1回グループワーク・ふりかえりシートの質問・意見と回答■■■

■検討の進め方・グループワーク全体について

- グループワークの時間がもう少し長いとよかった。
- 時間が少ないと感じた。

【回答】

参加者の皆さまに事前に資料を送付し、ご確認いただいたうえで参加していただくなど、限られた時間の中で有意義なグループワークとなるよう努めています。検討の進め方については、議論の回数は決めずに、皆さまと市とで合意形成が図られるまで開催します。

■児童館に係るコストについて

- 大規模修繕や施設の複合化にかかる費用を具体的に示してほしい。
- お金がどのくらいで児童センターの安全が守れるのか？
- 児童センターを維持するには具体的にいくらかかるのか？
- 市の職員から具体的なお金の話をしてほしい。現状のコスト、維持した場合のコスト、など。
- 一番大事なことは、お金のことだと思う。(児童センター修理にどのくらいかかるか)
- 児童センターの維持費

【回答】

(第2回で市が提案する今後の進め方で議論を進める場合)

今後の話し合いの中で、児童センター機能を含む地域の施設のあり方について、地域の方の意見をもとに複数の配置案を作成し、比較を行いたいと考えています。その比較の際に、一定の条件を設定した上で、複合先の施設などの更新費用・管理運営費用も含めて試算し、地域全体でどの程度コスト削減されるかなど比較することを予定しています。(どのような施設にしていくかは、今後地域のみなさまと検討していくため、現時点で具体的な費用を算出することは困難)

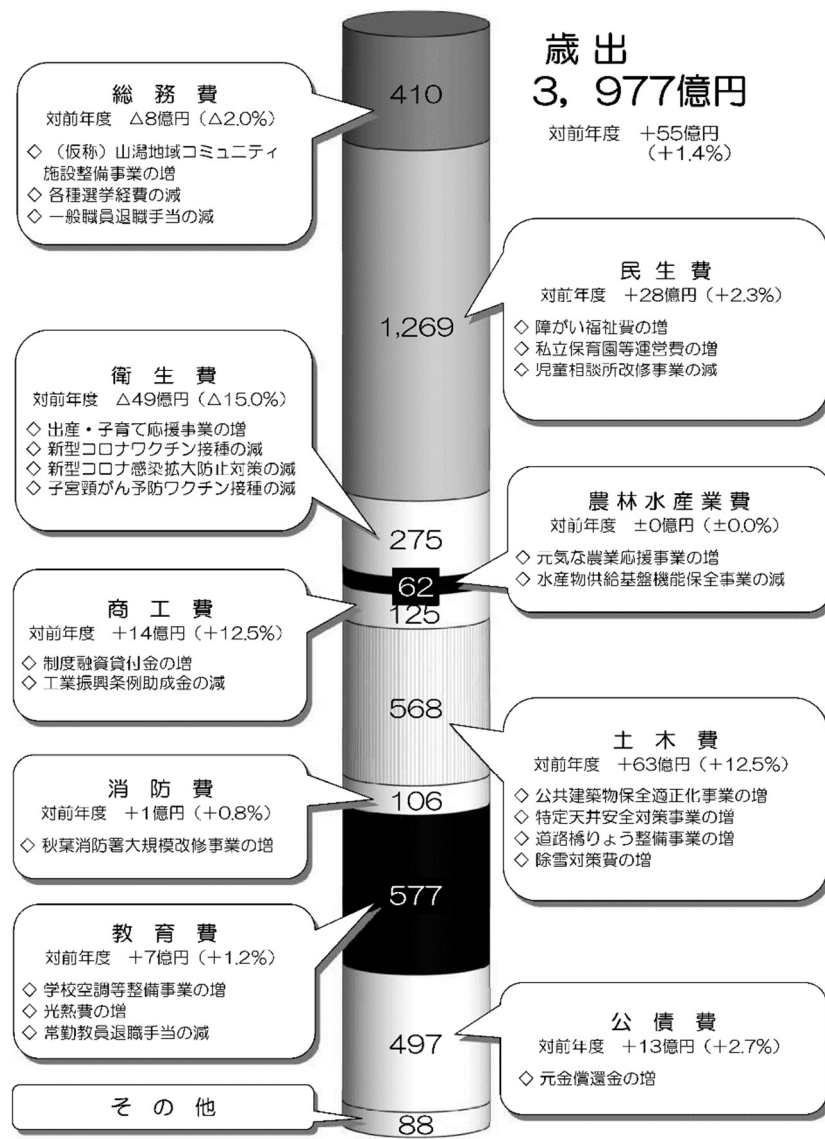
また、コストの検討は、施設のあり方を検討していく上で、非常に重要なポイントではありますが、今回の検討は、市全体として、今後増加見込みの施設維持に対応するため、全市的に施設の適正化を進めている中で、早通児童センターの今後のあり方を検討しているものです。まずは、費用だけで施設のあり方を考えるのではなく、地域の方と協働で施設のあり方を検討し、早通地域の実情に合った、適正な規模かつ安心・安全な施設を維持していくことが大事だと考えています。

■児童福祉に係る予算について

- 市の福祉予算と児童にかかわる予算が全予算のどの位なのか、他の予算と比べてわかる資料がほしい。
- 予算を子どもにどのくらいかけているか知りたい。
- どうして子どもにお金をかけられないのか？子どもにかけている予算は全体の何%位なのか？
- 現状の財源の詳細を知りたい。

【回答】

下図のとおり、R5年度当初予算では、歳出合計が3,977億円に対し、民生費（福祉や子育て支援）にかかる予算は、1,269億円となっています。



R5年度当初予算案 一般会計（歳入・歳出）概要より抜粋

■ひまわりクラブ（放課後児童クラブ）との差別化について

- 来年度から18時まで開館になるが、ひまわりとの差別化はどう考えてるのか。
- ひまわりクラブとの区別はどうするのでしょうか？

【回答】

ひまわりクラブ（放課後児童クラブ）は、就労などにより、昼間保護者のいない家庭の小学生に対し、健全な遊びや安全な生活の場を提供し、心身の健やかな成長を促すことを目的に運営しています。

一方、児童館は、18歳未満の子どもが自由に利用できる児童福祉施設であり、健全な遊びを与えて、その健康を増進し、または情操をゆたかにすることを目的とする施設です。

目的について類似している部分もありますが、対象者や利用条件が異なっており、開館時間の変更に関わらず、サービスとして区別されているものです。

- 来年度から開館時間が10時～18時になるようですが、議会で区長が「運用による工夫や実態に即した対応などについても検討していきたい」と言っていました。4月1日も長期休みですがどうなりますか。

【回答】

早通児童センターと三ツ森児童館は令和6年4月1日より、従来の9時～17時の開館時間を10時～18時に変更します。

変更理由は、平日9時台の利用者が少ないこと、また、主な利用者である小学生の学習環境の変化への対応や中高生の居場所づくりの促進など、時代とともに求められる役割が変化していることから、限られた資源の中で利用実態に沿った運営を行うためです。

午前に遊ぶ時間が少なくなるのご意見もいただいておりますが、12時から13時においても開館していますので、例えば、10時から13時まで遊んでから自宅に帰るなど、運用による工夫を行っていきます。

土曜日や長期休みは、午前9時からの利用が一定数あることは承知していますが、児童館はひまわりクラブと異なり、預かり施設ではありませんので、平日と同様の開館時間となります。

■その他

- 第2回の前に全戸配布をして住民からの意見は取り入れる予定ですか？それとも周知のみの予定ですか？

【回答】

全戸配布の際に、参加者以外の方からのご意見もお伺いし、今後のワークショップの検討内容に反映していきます。